

# 重点戦略5 誇れる地域づくり戦略

## 1 魅力あるとちぎの地域づくりプロジェクト

### 1 プロジェクトの概要

#### (1) 目標

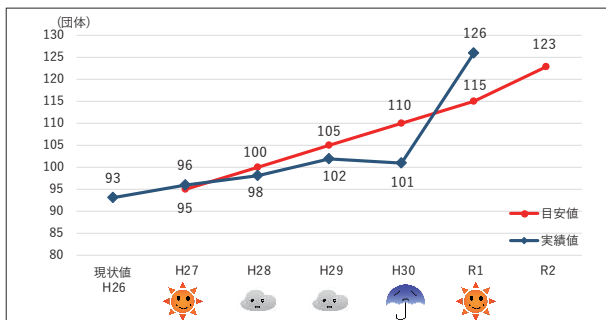
- 県民協働のもと、多様な主体が参加する地域づくりを推進し、にぎわいの創出やコミュニティの再生を図るとともに、本県への移住希望や若者の定着を実現できる環境をつくり、住みたいとちぎを創出します。

#### (2) 重点的取組

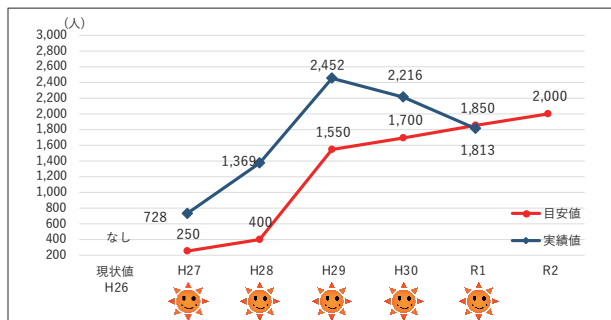
- ☆ 多様な主体との協働や連携・交流による地域づくり
- ☆ 住みたい、住み続けたい地域づくり

### 2 プロジェクトの進捗を表す成果指標等の状況

#### ① 地域づくり団体数



#### ② 本県への年間移住者数



(注) 達成見込の判断



概ね順調



やや遅れている



遅れている

#### ○ 成果指標の分析

- ① 地域づくり活動を行う団体や地域づくり活動に興味がある方に対し、研修会や活動体験等を行った結果、順調に推移しています。
- ② 全市町・関係団体等が一堂に会する合同移住相談会の開催など市町等との連携により、県全体での相談、受入体制の充実が図られました。

### 3 県民満足度調査の結果

	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
満足・やや満足の割合	28.3%	40.1%	31.4%	31.4%	29.8%
やや不満・不満の割合	14.4%	11.0%	17.6%	14.8%	12.0%

## 4 主な取組成果

### ① 多様な主体との協働や連携・交流による地域づくり

#### ▷地域課題への対応、地域の可能性やニーズを反映した特色ある地域づくり

- 地域住民が主体となったコミュニティ活動への支援
  - ・わがまち未来創造事業の活用による特色ある地域づくり活動の推進
  - ・「地域づくり団体栃木県協議会」ホームページを通じた積極的な情報発信等による地域づくりに向けた機運の醸成
  - ・「とちぎ協働推進大会」の開催による多様な主体の交流の促進
  - ・輝く“とちぎ”づくり表彰によるNPO等の協働の取組の促進
- 農産物直売所等への新たな機能付加による地域ニーズへの対応
  - ・新たな農産物加工品の開発や農業生産機能の増強への支援
  - ・出荷困難者を対象とした農産物集荷体制構築への支援
  - ・法人化に向けた勉強会の開催や加工所の拡張整備への支援
- 地域づくりの核となる人材やまちづくり団体の育成
  - ・若者向け事例発表会やフィールドワーク、地域づくり実践者等のスキルアップ研修会等の実施
  - ・地域課題解決のための企画力向上講座の開催や新たな事業に取り組む団体への専門家の派遣
  - ・地域において協働の取組をけん引する「地域協働推進員」の養成
  - ・県コミュニティ協会との連携による地域のリーダー育成事業「コミュニティカレッジ」等の実施

#### ▷交流人口の拡大

- スポーツイベントなど複数の市町が連携して取り組む地域活性化への支援
  - ・市町と連携した国際サイクルロードレース「ツール・ド・とちぎ」の開催
- 農林業体験など地域資源を活用した都市農村交流の促進
  - ・首都圏の消費者等をターゲットにした農業体験やイベント等の情報発信

### ② 住みたい、住み続けたい地域づくり

#### ▷県内高校・大学等と地域等が連携した取組への支援

- 地域課題解決に向けた高校・大学等と地域・企業等との連携・協働の取組の促進
  - ・県立高校における地元自治体や企業との連携協定の締結
  - ・大学地域連携活動支援事業の実施
  - ・大学コンソーシアムとちぎ構成大学が実施する「ふるさととちぎ学」への講師派遣
  - ・高校・大学生等を対象とする社会貢献活動への参加を促進するための体験プログラムの実施
  - ・中学生を対象とした社会貢献活動の理解促進教材の作成及び出前講座の実施
- 宇都宮大学が取り組む「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」との連携
  - ・地域理解のための講義への講師の派遣・紹介等

#### ▷とちぎの魅力や暮らし等に関する情報発信と様々な主体と連携した相談・受入体制の充実

- とちぎの暮らしの魅力発信や市町と連携した一元的な空き家紹介など移住に関する情報の提供
  - ・先輩移住者の暮らし方や空き家情報など市町の移住支援策等を掲載した専用ウェブサイト「ベリーマッチとちぎ」の運営
- 暮らしや仕事に関する東京都内のワンストップ相談体制の充実
  - ・移住と仕事のワンストップ相談窓口「とちぎ暮らし・しごと支援センター」の運営

- 移住や就職に関するセミナーや相談会、とちぎでの暮らしの体験機会等の充実
  - ・都内における移住に関するセミナー、県内全市町や関係団体、県内企業等が一堂に会する合同移住・しごと相談会の開催
  - ・東京圏に住む20代から30代の女性を対象とした交流会の開催
  - ・本県出身若年層を対象とした都内での交流イベントの開催及びLINEを活用した情報発信
  - ・U・I・Jターン促進に資する取組を行う民間企業等からなる「とちぎU・I・Jターン応援団」の活用
  - ・とちぎWORKWORK就職促進プロジェクト事業による東京圏からの移住希望者の移住・就業の促進や女性・高齢者等の就労促進

## 5 総合評価

### ① 多様な主体との協働や連携・交流による地域づくり

#### ▷地域課題への対応、地域の可能性やニーズを反映した特色ある地域づくり

- ・地域づくり団体栃木県協議会に登録する団体数は、対象団体等に向けた研修会等を行うことにより増加してきています。一方、今後、人口減少・高齢化の進行により地域コミュニティや生活圏の維持が困難な地域も出てくること懸念されることから、地域課題の解決に寄与する取組への支援が求められています。
- ・地域の社会貢献活動の拠点である市民活動支援センターの増加や各種事業実施により、地域づくりの核となる人材やNPO等団体の育成が進んでいます。
- ・とちぎ協働推進大会において、活動実践者による講演や輝く“とちぎ”づくり表彰受賞事例等を共有することにより、多様な主体による協働への理解や取組の促進が図られています。

#### ▷交流人口の拡大

- ・市町と連携した「ツール・ド・とちぎ」の開催により、第1回～第3回大会において延べ216,900人の観客が訪れ、地域の活性化が促進されました。また、市町においても独自のサイクルイベントが開催されるなど、「自転車先進県とちぎ」の実現に寄与しました。なお今後は、交流人口の拡大に加え、地域の課題解決や将来的な移住に向けた裾野の拡大を図るため、特定の地域に継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大に取り組んでいきます。
- ・農産物直売所や農村レストラン、農業体験施設等の利用者数は年々増加傾向にあり、都市農村交流が着実に進んでいます。

### ② 住みたい、住み続けたい地域づくり

#### ▷県内高校・大学等と地域等が連携した取組への支援

- ・中学生向け出前講座の受講実績の増加や、高校・大学生向け事業の実施により、社会貢献活動への理解促進が図られています。
- ・県立高校では、全68校中37校（54.4%）で、商品開発やイベント協力など地元自治体や企業等と連携した取組を実施しています。

#### ▷とちぎの魅力や暮らし等に関する情報発信と様々な主体と連携した相談・受入体制の充実

- ・都内移住相談窓口の運営や、移住セミナー・相談会の開催等、移住希望者に向けた情報発信に取り組んできましたが、より効果的にターゲットに対して的確に情報を届け、移住希望者のニーズに応えた相談機会を提供するため、未来技術やマーケティングの手法等を活用した新たな情報発信及び相談体制の構築が求められています。
- ・市町においても、移住・定住促進に向けた取組（移住相談窓口の設置、移住体験ツアーの実施など）を行っていますが、ノウハウの有無や人的資源の制約等により、取組の進捗には市町間に差異があることから、若者や女性をはじめとする本県の転出超過状況の改善を図るため、市町における取組の底上げを図り、オールとちぎ体制で移住・定住の促進に取り組むことが求められています。